第１４回　肝炎治療戦略会議	
平成２７年５月１８日	資料１

ウイルス性肝疾患に対する新規治療法に関する検討について

＜ 背 景 ＞

5月 13 日に開催された中央社会保険医療協議会においてソホスブビルについて審議され、5月 20 日に薬価収載されることとなった。これにより、セログループ2（ジェノタイプ2）のＣ型慢性肝炎又はＣ型代償性肝硬変に対するソホスブビル及びリバビリン併用療法が保険適用となるため、肝炎治療特別促進事業においてどのように取扱うべきか、対応方針を検討する必要がある。

なお、去る2月 26 日の薬事・食品衛生審議会医薬品第二部会において、ダクラタスビル及びアスナプレビルの製造販売承認事項一部承認変更申請が了承され、3月 20 日に薬事承認、保険適用となり、同日付けでインターフェロン適格未治療例及び前治療再燃例に対するダクラタスビル及びアスナプレビル併用療法も本事業における助成対象としたところである。インターフェロンフリー治療不成功後のインターフェロン治療に対する取扱いについても併せて検討する必要がある。

＜検討事項＞

（1） ソホスブビル及びリバビリン併用療法について医療費助成の対象とすべきか。

（2） 対象とする場合、必要な条件を検討。

・ 対象患者について
・ 診断書作成について
・ 治療回数について
・ 治療期間延長に係る取扱いについて
・ 治療不成功後の対応について　　　　　等